

## 平成24年度 事業報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

## 特定非営利活動法人 薬学共用試験センター

## 1 事業の成果

平成25年度に薬学実務実習を履修する全国の薬系大学(73大学74校)の学生(主に6年制課程の4、5年次学生)を対象とした第4回薬学共用試験(CBTについては体験受験及び本試験と追・再試験、OSCEについては試験と追・再試験)を実施した。いずれも大きな支障なく実施することができた。受験や試験管理、問題作成などソフトウェアには大きな修正は不要であったが、センターサーバのリプレースを行った。前年度のバックアップサーバ導入に続き、大震災などの不測の事態発生時には近畿地区に副事務局を設置する体制を整えた。CBT体験受験の際には副事務局を一時的拠点として、センターサーバの代わりにバックアップサーバを用いた試験運用を実施した。次年度はさらに緊急性の高い状況を想定した訓練を実施する予定である。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	OSCE新規課題およびモニター員説明会を開催し、過去3回のOSCEから得られた成果や問題点について協議した。また、24年度出題対象の課題の評価ポイントや事前審査手順などを説明した。	平成24年5月27日	慶応義塾大学薬学部	16人	全国薬系大学の教員(約160名)	560千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	CBT実施における注意点や第3回本試験で新たに見出された事象などの周知徹底を目的としてCBT説明会を開催した。	平成24年6月12日	慶応義塾大学薬学部	5人	全国薬系大学の教員(約100名)	25千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	CBT実施における注意点や第3回本試験で新たに見出された事象などの周知徹底を目的としてCBT説明会を開催した。	平成24年6月13日	京都薬科大学	5人	全国薬系大学の教員(約80名)	140千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第4回共用試験CBT本試験に先立ち、受験生の練習や体制の確認、新規問題の妥当性の検証を目的としたCBT体験受験を実施した。	平成24年7月19日～9月14日	73薬系大学74校	100人	全国薬系大学の教員(約230名)及び薬学生(10,514名)	2,870千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	OSCEの評価者養成伝達講習会を開催した。ロールプレイを通し評価の基本概念や各大学での評価者養成におけるポイントを共有した。	平成24年9月1日	京都薬科大学	21人	全国薬系大学の教員(約80名)	500千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	OSCEモニター説明会とワークショップ説明会を開催した。モニター業務の意義や問題点について協議した。また事前審査手順や当日の任務について再確認した。	平成24年9月7日	慶応義塾大学薬学部	13人	全国薬系大学の教員(約80名)	420千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第4回共用試験(CBT、OSCE)の本試験および追・再試験を実施した。	本試験：平成24年12月1日～平成25年1月31日、追・再試験：平成25年2月19日～3月16日	73薬系大学74校	260人	全国薬系大学の教員(約750名)及び薬学生(10,548名)	8,080千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	平成25年度OSCE実施説明会を開催した。25年度に向けた変更点や留意事項について説明した。	平成25年3月31日	慶応義塾大学薬学部	18人	全国薬系大学の教員(約160名)	120千円